

こんごうさん 金剛山

【葛城第二十経塚(石寺跡)】
【葛城第二十一経塚(金剛山)】

金剛葛城山地の盟主、金剛山登山 葛城の里から登り、 千早の集落へ

標高1125mの金剛山は、大阪府側からも奈良県側からも多くの登山道が通じているが、古道も多い。その昔、山中にはいくつもの山岳寺院があったが、現在は山頂直下に転法輪寺のみが残っている。葛城第二十経塚のある石寺跡もその名残のひとつだ。

スタートは風の森バス停。バス停近くにある葛城の道案内板を見て出発する。まずは、全国の加茂神社の総本宮、高鴨神社に立ち寄ろう。そばに葛城の道歴史文化館もある。次に目指すのは高宮廃寺跡だ。道標を頼りに山の手に向かい、弁天祠のある大杉の先で民家の間を抜け、登山道に取り付く。国指定史跡の高宮廃寺跡までは林道だ。廃寺手前で左に石寺道が分岐するが、先に廃寺跡に立ち寄ってから、登山道を登っていこう。ひと登りした広場が石寺跡で、そこに鎮座する大岩が経塚となっている。登りつめると伏見道と合流してダイヤモンドトレール上の伏見峠に着く。

峠から右へ向かい、ログハウスのある広場や展望台を横目に進むと、ササをかぶった湧出岳への道が右に派生する。登っていくと、葛城第二十一経塚のある湧出岳山頂だ。経塚の北に続く林道を下って、ダイヤモンドトレールに再合流する。ここには出迎え不動の広場がある。一ノ鳥居をくぐり、一言主神を祀る葛木神社、続いて転法輪寺へ。ちなみに金剛山の最高点、葛木岳山頂は神社の裏手で立ち入りは禁止だ。

売店の前を通り、国見城跡で展望を楽しんだ後は、千早本道で下る。金剛山のメイン登山道で、登山者も多い。一気に下ってもいいが、ここでは楠木正儀の墓の先で左へ、日本百名城の楠木正成の山城、千早城跡を経由していこう。長い石段を下ってバス道に出たら右で金剛登山口バス停、直進すれば、行所の多聞寺跡がある千早集落だ。

歩行距離 ◆ 約11km
歩行時間 ◆ 4時間15分

体力レベル ★★★★★
登山レベル ★★★★★



コース情報

風の森から葛城の道へ。正面に金剛葛城の山並み

石寺道は伏見道と合流し、伏見峠へ。丁石もある

国指定史跡の高宮廃寺跡には礎石のみが残っている

楠木正成の難攻不落の城、千早城跡から金剛山を見る

アクセス

往路

近鉄御所線 御所駅 17分 風の森バス停

復路

金剛登山口バス停 35分 南海バス 高宮廃寺跡 34分 近鉄長野線富田林駅

または 金剛バス

アドバイス

本コースは終始登山なので、足元はトレッキングシューズが必要。登山道はよく整備されているので迷うところはない。金剛山の山頂近くには、行場のひとつ、岩屋文殊もある。役行者が修行し楠木正成が知略を授かったという岩屋で、時間があれば立ち寄りたい。千早の多聞寺跡は場所がわかりにくいので地元の人に尋ねよう。

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行の道とは異なります。